

## スズキ、新型小型乗用車「イグニス」が 2016年度グッドデザイン賞を受賞



**GOOD DESIGN  
AWARD 2016**

イグニス

スズキ株式会社の**新型小型乗用車「イグニス」**が、公益財団法人日本デザイン振興会による「**2016年度グッドデザイン賞**」<sup>※1</sup>を受賞した。

**新型「イグニス」**は、毎日の生活で便利に使えるだけでなく、アウトドアシーンにも使える「使い勝手の良いスタイリッシュなコンパクトクロスオーバー」をコンセプトに2016年2月に発売した、新ジャンルの小型乗用車である。

デザインはシンプルでありながら強い印象を与える外観に、上質感や新しさを表現した内装を採用。高めのアイポイントで運転しやすいコンパクトなボディに、全車に搭載したマイルドハイブリッドや力強い走行性能、先進の安全装備を採用しお客様より好評を得ている。

**新型「イグニス」**は、発売開始から2016年8月末の時点で累計約18,000台<sup>※2</sup>を販売している。

### ● 審査委員の評価

「経済性のみが重視され、クルマとしての魅力が二の次にされがちなコンパクトカー。そういうクルマがあってもいいが、所有する喜びを感じられるものが少ないのは寂しい。イグニスはコンパクトでありながら個性のあるデザインをもつ。流行のSUVテイストを採り入れながらも、各部に初代エスクードやフロンテクーペ、セルボといった、過去のスズキ車へのオマージュを散りばめているのも興味深い。欧州のプレミアムメーカーがよく使う手法だが、それは彼らがそうした取り組みがブランドイメージの強化につながることを知っているから。過去の自社製品へのリスペクトは、新しいデザインを創り上げる上での強力なエネルギーになることをイグニスは示している。」

※1「グッドデザイン賞」：1957年に通商産業省（現経済産業省）によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」（通称Gマーク制度）を母体とする、日本で唯一の総合的デザイン評価・推奨の仕組み。

※2 自販連資料よりスズキ調べ。